



大樹のこころ

卒業を祝う会

卒業を祝う会。これは1年生から5年生が、6年生の卒業をお祝いする会で、1年を締めくくる大きな学校行事です。会の企画・運営は5年生が担当します。5年生は、この祝う会の準備・進行を通して、大きく成長していきます。

祝う会用に模様替えした体育館は、実に華やかです。体育館への通路には、6年生の成長を振り返る思い出の写真が貼られています。館内の壁面には、全校児童が作成した6年生へのメッセージが掲示してあります。そんな会場に6年生が1年生と一緒に入場します。その様子は実に微笑ましいものです。バックミュージックは5年生による生演奏。温かな雰囲気が会場を包み込んでいきます。

入場が終わると、各学年による出し物がスタートします。1年生は「サチアレ」の替え歌を披露します。6年生との関係性が強かった学年だけに、1年生からのメッセージに6年生は大喜びです。2年生は「笑一笑～シャオイーシャオ！」を踊ります。6年生が2年生の時に運動会で踊ったダンスです。立ち上がって一緒に踊る6年生もいます。3年生は「エーデルワイス」のリコーダー演奏と「ソイヤ」の踊り。これも3年生の時に音楽の授業で習った曲であり、運動会でのダンス。4年生は「6年生の日常の様子」を寸劇で発表した後に、本校の校歌を歌い演奏していきました。そして5年生。6年各クラスの「面白ネタ」を寸劇にして会場を大いに盛り上げていきます。楽しい寸劇の後は5年生全員で「水平線」の合唱。感動的な歌に会場が静まり返ります。

会の最後には、6年生が感謝の気持ちを込めて「Best Friend」の合唱です。会の主役である6年生がひな壇に並び歌い始めると、聴く側には万感の思いが広がっていきます。自分も胸が熱くなってきました。会が終わり、花のアーチの下を退場していく6年生の姿を見て、卒業が間近に迫ってきていることが、実感として湧き上がってきました。卒業式は3月20日(月)。残された日々を充実したものにしていってほしいと強く思いました。

全校で作り上げた卒業を祝う会。冒頭で会を通して5年生は成長すると綴りましたが、他の学年も同じです。祝う会で担任の先生方は、自分の学年の子供たちの成長を実感していきます。どの学年も1年間で立派になりました。6年生の卒業とともに、各学年も1年が修了しようとしています。学校は1年の締めくくりの時期を迎えようとしているのです。

